

県外派遣審判員報告書

作成日 平成30年3月19日

大会名	第44回全日本クラブバスケットボール選手権佐賀大会	会場	佐賀県総合体育館 他		
期間	平成30年3月9日(金)～平成30年3月12日(月)	報告者	山中 萌衣		
期日	内容			場所	
3月9日(金)	14:30～	研修会・審判会議			佐賀県総合体育館
3月10日(金)	9:00～	大会1日目			佐賀県総合体育館 他
3月11日(金)	9:00～	大会2日目			佐賀県総合体育館 他
3月12日(金)	9:00～	大会3日目			佐賀県総合体育館
実技	割り当て	女子1回戦 niko(福井県)vsクリスタルBBC(島根県)	U2	相手	CC・谷地 温(秋田県・S級) U1・山本 一史(佐賀県・B級)

○ゲーム前(プレカンファレンス)

メカニクスの確認:ローテーションのタイミング、プライマリーエリア・プライマリーアングル
ショットクロック・ゲームクロックの管理
ガイドラインの確認

○ゲームの実際

ゲームは、延長戦に持ち込む大接戦となった。
メカニクスでは自分のエリア(プライマリ)を確認しながらの判定を意識しながらレフリングした。しかし、理解が浅いために自分のエリアだけだと判定することができない場面があった。特に3POの生命線といわれるセンターでの判定を積極的にすることができなかった。この試合は特にセンターからの判定が必要な場面が多かったが、見落としてしまうことが多かった。判定の場面では手の使い方に関してゲームの序盤で整理が必要だった。ゲーム序盤で基準を示すことの重要性を改めて感じた試合だった。

○ゲーム後(ポストカンファレンス) 主任 太田 匡俊 氏(愛知県・A級)

序盤で手の整理やセンターでの判定。センターからが見やすい現象が多くあったので。もっと介入していった方がよかったとのことだった。時計に関して、ゲームタイマーが進んでなく止めたとき、ショットクロックも確認して正しい時間にセットすることなど、セットに関してアドバイスをいただいた。

実技	割り当て	女子準々決勝 ひらまつ病院(佐賀県)vs明善クラブ(香川)	U2	相手	CC・河野 仁(山梨県・A級) U1・有澤 優子(山口県・A級)
----	------	----------------------------------	----	----	-------------------------------------

○ゲーム前(プレカンファレンス)

メカニクスの確認
チームの情報の共有
ガイドラインの確認

○ゲームの実際

両チーム2試合目となり、人数が多いひらまつ病院が終始優位に進めたゲームだった。しかし、点差が離れていてもお互い緩めることなく集中したゲームとなった。
メカニクスに関して、前日よりローテーションをしてプレーを見ることを意識した。ふられることもあったが、いくべきときといかないときを少しずつ修正しながら取り組むことができた。前日ではできていなかったセンターからの判定も少しだが捉えることができ、感覚をつかめた感じがかった。
判定に関しては、キーになる外国人選手に対する守り方のところで、リーガルな守り方に対してオフェンスファールを取り上げ基準を示していただいた。それによってとても判定しやすくなり、1試合通して一貫性をもって判定することができた。

○ゲーム後(ポストカンファレンス) 主任 富樫 彰子 氏(宮城県・S級)

クルーが協力できていた。それが、点差は離れていても、面白い試合になり、ベンチや選手からアピールやクレーム等もなかったのではないかとということをおっしゃっていただいた。
ニューリードに入るのが遅い。走るときもコートから目を離すことなく走り、プレーを受ける余裕をもてるように早くリードポジションに入るなければいけない。
また、体が小さいのでプレゼンテーションもっと大きくして自分を大きく見せることやもっと自信をもって判定することが必要だというアドバイスをいただいた。

全体を通しての感想

全国大会ということもあり、選手も審判もレベルの高さを感じることができた。
全試合3POで、メカニクスや判定等、実践をし反省をいただくことで修正することができとても良い経験になった。だが、もっとメカニクスだけでなく、ルールやプレイに関する理解が必要だと実感した。
全国から集まった審判の方々を見ることができレフリングだけでなく表現の仕方なども勉強になることばかりであった。ここで学んだことをこれから実践することや県内に持ち帰り還元していきたいと思う。
最後になりましたが、このような貴重な経験をさせていただいた九州クラブバスケットボール連盟会長はじめ九州クラブバスケットボール連盟審判長、鹿児島県審判委員会審判長、県内審判員に感謝し、第44回全日本クラブバスケットボール選手権大会の報告といたします。